



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 ニチモウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8091 URL <http://www.nichimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 和明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 八下田 良知

TEL 03-3458-3530

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	27,289	8.9	713	—	634	—	559	—
27年3月期第1四半期	25,050	2.7	31	—	△90	—	△107	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,163百万円 (873.4%) 27年3月期第1四半期 119百万円 (△64.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	16.42	16.15
27年3月期第1四半期	△3.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第1四半期	70,279	—	15,117	—	21.1
27年3月期	61,887	—	14,125	—	22.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 14,805百万円 27年3月期 13,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	△6.2	600	△13.0	300	△41.4	200	△42.2	5.87
通期	110,000	1.2	1,300	52.9	700	47.2	500	108.7	14.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	37,874,000 株	27年3月期	37,874,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	3,817,823 株	27年3月期	3,816,443 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	34,056,376 株	27年3月期1Q	34,063,536 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。米国経済の動向、欧州における債務問題、中国経済の減速傾向などもあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましては、円安進行に伴う原材料の輸入価格の高騰や、依然として消費者の節約志向が続くなど、引き続き厳しい環境下にありました。

こうした情勢のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は272億89百万円（前年同期比22億38百万円の増加）、営業利益は7億13百万円（前年同期比6億81百万円の増加）、経常利益は6億34百万円（前年同期は90百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億59百万円（前年同期は1億7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

<食品事業>

食品事業におきましては、すり身やカニの取扱数量は前期並みとなりましたが、カニの販売価格の上昇や、助子加工における生産性の改善などにより売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は172億10百万円（前年同期比3億55百万円の増加）、セグメント利益は5億93百万円（前年同期比3億41百万円の増加）となりました。

<海洋事業>

海洋事業におきましては、消費税増税後に需要が減少した沿岸用資材の回復や養殖用資材の受注の増加、また、海外向け漁具資材が堅調に推移したことなどから売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は41億40百万円（前年同期比6億31百万円の増加）、セグメント利益は1億88百万円（前年同期比1億80百万円の増加）となりました。

<機械事業>

機械事業におきましては、食品加工機械の国内・海外での需要増加に対応して受注を伸ばし売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は27億81百万円（前年同期比12億89百万円の増加）、セグメント利益は1億39百万円（前年同期比1億26百万円の増加）となりました。

<資材事業>

資材事業におきましては、建材関係での需要の減少により取扱高が減少いたしました。新規商材の拡販などによりセグメント利益では前年同期並みとなりました。

これらの結果、売上高は24億93百万円（前年同期比1億円の減少）、セグメント利益は68百万円（前年同期比0百万円の増加）となりました。

<バイオティックス事業>

バイオティックス事業におきましては、大手健康食品メーカー向けへの素材の拡販や薬局向けや通販の拡大などにより売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は66百万円（前年同期比14百万円の増加）、セグメント利益は5百万円（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

<物流事業>

物流事業におきましては、倉庫内作業の効率化による原価コストの削減や、新規配送業務の受注などにより売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は5億74百万円（前年同期比59百万円の増加）、セグメント利益は4百万円（前年同期は38百万円のセグメント損失）となりました。

<その他>

その他といたしましては、不動産の賃貸、人材派遣業を行っており、売上高は22百万円（前年同期比10百万円の減少）、セグメント利益は15百万円（前年同期比0百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は702億79百万円(前連結会計年度比13.6%増)となりました。総資産の増加は、主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

(総負債)

当第1四半期連結会計期間末における総負債は551億62百万円(前連結会計年度比15.5%増)となりました。総負債の増加は、主として仕入債務及び短期借入金増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は151億17百万円(前連結会計年度比7.0%増)となりました。純資産の増加は、主として利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、前回公表(平成27年5月15日)いたしました連結予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437	4,795
受取手形及び売掛金	15,304	18,469
商品及び製品	17,992	21,381
仕掛品	381	602
原材料及び貯蔵品	3,090	3,723
前渡金	629	552
繰延税金資産	10	7
その他	715	1,001
貸倒引当金	△97	△109
流動資産合計	42,465	50,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,209	7,227
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,171	△5,215
建物及び構築物(純額)	2,037	2,011
機械装置及び運搬具	5,348	5,449
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,128	△4,219
機械装置及び運搬具(純額)	1,219	1,230
船舶	4,093	4,121
減価償却累計額	△1,096	△1,182
船舶(純額)	2,996	2,939
工具、器具及び備品	654	663
減価償却累計額及び減損損失累計額	△529	△537
工具、器具及び備品(純額)	125	125
土地	2,349	2,357
建設仮勘定	31	47
有形固定資産合計	8,760	8,711
無形固定資産		
のれん	700	681
その他	447	426
無形固定資産合計	1,147	1,107
投資その他の資産		
投資有価証券	8,475	8,980
長期貸付金	167	168
破産更生債権等	1,229	1,226
繰延税金資産	216	217
その他	628	646
貸倒引当金	△1,204	△1,201
投資損失引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	9,490	10,014
固定資産合計	19,398	19,834
繰延資産		
社債発行費	23	19
繰延資産合計	23	19
資産合計	61,887	70,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,294	12,553
短期借入金	17,840	24,363
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	1,269	1,256
未払法人税等	116	87
繰延税金負債	10	1
賞与引当金	411	253
訴訟損失引当金	1	1
その他	2,232	2,133
流動負債合計	33,376	40,850
固定負債		
社債	4,200	4,200
長期借入金	7,945	7,738
長期未払金	61	53
繰延税金負債	877	1,024
役員退職慰労引当金	140	131
退職給付に係る負債	962	942
その他	198	222
固定負債合計	14,385	14,311
負債合計	47,762	55,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
資本剰余金	22	22
利益剰余金	9,859	10,248
自己株式	△1,082	△1,082
株主資本合計	13,211	13,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,904	2,225
繰延ヘッジ損益	21	2
為替換算調整勘定	△1,031	△808
退職給付に係る調整累計額	△216	△212
その他の包括利益累計額合計	678	1,206
新株予約権	71	71
非支配株主持分	164	240
純資産合計	14,125	15,117
負債純資産合計	61,887	70,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	25,050	27,289
売上原価	22,845	24,222
売上総利益	2,204	3,066
販売費及び一般管理費	2,173	2,352
営業利益	31	713
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	62	61
持分法による投資利益	71	47
その他	37	27
営業外収益合計	175	141
営業外費用		
支払利息	143	140
為替差損	124	67
その他	29	12
営業外費用合計	297	221
経常利益又は経常損失(△)	△90	634
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7
事業譲渡益	—	45
特別利益合計	—	52
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△90	686
法人税、住民税及び事業税	37	73
法人税等調整額	△4	2
法人税等合計	32	76
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△122	609
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	50
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△107	559

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△122	609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	313
繰延ヘッジ損益	△10	△19
為替換算調整勘定	46	248
退職給付に係る調整額	16	4
持分法適用会社に対する持分相当額	11	7
その他の包括利益合計	242	553
四半期包括利益	119	1,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119	1,086
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	16,855	3,508	1,492	2,594	52	514	25,018	32	25,050
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	49	258	7	65	—	—	381	—	381
計	16,904	3,767	1,500	2,659	52	514	25,399	32	25,431
セグメント利益 又は損失(△)	252	7	13	68	△1	△38	301	15	316

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	301
「その他」の区分の利益	15
全社費用(注)	△284
四半期連結損益計算書の営業利益	31

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	17,210	4,140	2,781	2,493	66	574	27,266	22	27,289
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	176	244	24	63	—	—	509	—	509
計	17,387	4,384	2,806	2,557	66	574	27,776	22	27,798
セグメント利益	593	188	139	68	5	4	1,000	15	1,016

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,000
「その他」の区分の利益	15
全社費用(注)	△303
四半期連結損益計算書の営業利益	713

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。